

「儒学と文化の里づくり」

子曰く
朋有り
遠方より来る
亦樂しからずや

令和2年度 第23回

全国ふるさと 漢詩コンテスト

令和2年11月29日(日)

無料公開講演会 (講演) 13時～

講師 宇野茂彦氏
公益財団法人斯文会 理事長

演題 「論語あれこれ」～論語を面白く読む方法～

場所 佐賀県多久市 東原庵講堂

表彰式・石碑披露 14時30分～

表彰式場所 東原庵舎
石碑披露 聖廟展示館敷地内

審査員 石川忠久氏 学校法人二松学舎顧問・公益財団法人斯文会名誉副会長
佐藤 保氏 お茶の水女子大学名誉教授
鷺野正明氏 国士館大学文学部教授



令和元年度最優秀受賞作品

主催：多久市、多久市教育委員会、公益財団法人孔子の里

全国ふるさと漢詩コンテスト

最優秀賞

新春感有り 山梨県都留市 高山 一雄

新春有感

高山一雄

遊歩御園佳氣新

好文木上好音頻

清香馥郁滿天地

迎得令和庚子春

御園を遊歩すれば佳氣新たなり
好文木上好音頻りなり
清香馥郁 天地に満つ
迎え得たり令和庚子の春

優秀賞

梅花に懐う 佐賀県佐賀市 副島 陽子

懐梅花

副島陽子

君逝三年又遇春
梅花開處奈無人
庭前風冷孤魂斷
空聽鶯聲追憶新

君逝き三年又春に遇う
梅花開く処人無きを奈せん
庭前風冷やかに孤魂断す
空しく聴く鶯声追憶新なり

優秀賞

夏日江畔 東京都杉並区 高橋 純子

夏日江畔

高橋純子

江邊雨過午風輕
葭葦萋萋浥露清
橋上停筇香氣裏
鐘聲時和晚蛙聲

江辺雨過ぎ午風輕し
葭葦萋々露に浥ひて清たり
橋上筇を停む 香氣の裏
鐘声時に和す 晚蛙の声

入選 旅夜絡繹を聞く 千葉県松戸市 田沼 裕樹

旅夜聞絡繹

田沼裕樹

促織聲寒菊枕邊
起溫殘酒獨凄然
杯中想見孤燈下
織手補衣猶未眠

促織の聲は寒し菊枕の辺
起つて残酒を温めて独り凄然
杯中想見す 孤灯の下
織手衣を補つて猶お未だ眠らざるを

入選 秋晚詩を賦す 神奈川県藤沢市 小嶋明紀子

秋晚賦詩

小嶋明紀子

獨坐繙書對短檠
月輪斜照露華清
苦吟雙淚有誰伴
徹夜階前蟋蟀聲

獨坐書を繙きて短檠に對す
月輪斜めに照らして露華清し
苦吟 雙淚 誰有りてか伴ふ
徹夜階前蟋蟀の聲

入選 農事偶成 大分県大分市 菅 勲

農事偶成

菅勲

輕風習習一村春
蝶舞燕未鶯語新
收穫多忙農事急
夕陽田野荷鋤人

輕風習習 一村の春
蝶は舞い 燕未り 鶯語新たなり
收穫多忙 農事を急ぐ
夕陽の田野 鋤を荷う人

奨励賞 令和庚子豪雨 佐賀県多久市 武田 耕一

令和庚子豪雨

武田耕一

黑雲重疊絕天光
猛雨襲村水勢強
閑靜小川成瀑布
激流音響破堤塘

黒雲重疊 天光を絶ち
猛雨村を襲い 水勢強し
閑靜なる小川 瀑布と成り
激流音響 堤塘を破る